

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	20 総 務 課	9021 教育委員会事務局人件費
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		79,969	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	42,637	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	3	03 職員手当等	24,367	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	12,965	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	79,966	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	79,969

事業概要	教育委員会事務局（社会教育を除く）の業務に携わる職員の人件費
事業目的	教育委員会事務局（教育総務課）で、学校教育の充実、小中学校の整備等を行っている。
現状、背景	教育長及び教育総務課職員の人件費
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 総 務 課	9036 社会教育事務人件費
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		48,955	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	26,146	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	20	03 職員手当等	14,778	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	8,031	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	48,935	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	48,955

事業概要	教育委員会事務局職員（社会教育）の業務に携わる職員の人件費
事業目的	教育委員会事務局（生涯学習課）で、市民交流センター（仮称）及び文化体育施設の整備、2019 レーザー級世界選手権大会の準備等を行っている。
現状、背景	生涯学習課職員の人件費
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 総 務 課	10485 学校給食人件費
	目	3	学校給食費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		16,350	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	8,622	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	5,076	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	2,652	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	16,350	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
平成３１年度から、調理・清掃部門を民間委託した。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	16,350

事業概要	学校給食業務に携わる職員の人件費
事業目的	学校給食に従事し、給食の献立作り、食材の発注等を行っている。
現状、背景	教育総務課（学校給食センター）職員の人件費
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	4	幼稚園費	90 子育て支援課	8485 私立幼稚園保育料無償化等子育て支援事業補助金
	目	1	幼稚園費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,514	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	301	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,213	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	1,514	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,514

事業概要	私立幼稚園に通う園児の保育料について、同一世帯の第3子以降の保育料の無償化や低所得世帯等の保育料の軽減が図れるよう、助成する。
事業目的	私立の幼稚園に在園する、または通園を希望する保護者の経済的な負担軽減を図ることで、子育て世帯の支援と少子化対策を行う。
現状、背景	少子化対策には国を挙げて取り組んでいるが、その進行に歯止めがかからない状況である。鳥取県では独自の取り組みとして、平成27年9月から小学校就学前の保育園、幼稚園に通う園児の保育料について、第3子以降分を無償としている。10月からの幼児教育無償化により、影響が生じる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	4	幼稚園費	90 子育て支援課	9097 私立幼稚園運営費補助金
	目	1	幼稚園費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,142	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5,142	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	5,142	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,142

事業概要	市内私立幼稚園の円滑な運営を図るため、補助金を交付する。
事業目的	補助金を交付することにより、市内における私立幼稚園の存続と円滑な運営を図る。
現状、背景	27年度より私立幼稚園は市内に1園のみとなっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	4	幼稚園費	90 子育て支援課	9098 幼稚園就園奨励費補助金
	目	1	幼稚園費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		6,764	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	1,741	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5,023	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	6,764	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	6,764

事業概要	私立幼稚園へ通園する市内在住の園児の保護者の保育料を所得階層により段階的に補助する。
事業目的	保護者の経済的負担の軽減を図る。
現状、背景	少子化による人口減、共働きによる保育所への入園も増加しているが、園バスでの送迎などにより人気は回復傾向にある。10月からの幼児教育無償化により、影響が生じる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	8425 教育委員会費
	目	1	教育委員会費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,346	01 報酬	2,256	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,346	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	40	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	50	20 扶助費	0	計	2,346

事業概要	教育委員会を運営していくための経費で、教育委員 4 人の報酬、教員人事の検討会議に必要な旅費、教育長の交際費を予算化している。
事業目的	本市教育行政の充実と進展を図る。
現状、背景	毎月 1 回開催する定例委員と緊急の事案が発生した際に開催する臨時委員会の中でその時々懸案事項について協議している。
その他	平成 27 年 4 月「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」が施行

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	8426 教育委員会事務局費
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		829	01 報酬	0	11 需用費	387	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	36	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	162	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	667	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	9
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	397	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	829

事業概要	教育委員会に事務局を置き、教育財産の管理、学校施設・設備の整備、児童生徒の入学・転学の手続、学校給食に関する業務など、教育行政全般に関する事務を執行しており、その経費を予算化している。
事業目的	教育委員会の権限に属する事務に関して、事務局職員がそれぞれ職務を遂行することにより、本市教育行政の円滑な運営が図れる。
現状、背景	平成30年4月より教育総務課、生涯学習課の2課体制により、教育委員会に関する事務を行っている。□平成31・32年度は境港市が鳥取県都市教育長協議会の事務局となり、教育長が議長に就任する。それに伴い、全国都市教育長協議会の理事を務め、年4回の理事会にも出席する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	8993 鳥取県学校図書館協議会負担金
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		17	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	17	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	17	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	17

事業概要	鳥取県学校図書館協議会加入のための負担金。
事業目的	全小中学校を対象に、学校図書館教育に関する研究、講習や読書指導の研究等を通じて、学校図書館の充実と発展を図る。□
現状、背景	昭和２５年度から加入。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	9028 全国都市教育長協議会負担金
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		14	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	14	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	14	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	14

事業概要	全国都市教育長協議会加入のための負担金。
事業目的	教育情報の交換、教育行政ならびに財政に関する調査研究、教育内容に関する調査研究、国会ならびに関係行政庁に対する連絡請願または陳情などを行い、教育行政の推進を図る。
現状、背景	毎年開催される協議会では、文部科学省に対して直接意見交換できる場も設定されるなど、教育行政の推進において重要な会である。昭和 28 年度から加入。平成 3 1 ・ 3 2 年度は境港市が理事を務める。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	9030 中国地区都市教育長会負担金
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	5	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5

事業概要	中国地区都市教育長会加入のための負担金。□
事業目的	教育情報の交換、教育に関する調査研究、その他教育に必要な事項を行い、本市教育行政の推進を図る。
現状、背景	昭和 41 年度から加入。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	9035 鳥取県市町村教育委員会研究協議会負担金
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		34	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	34	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	34	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	34

事業概要	鳥取県市町村教育委員会研究協議会加入のための負担金。
事業目的	鳥取県内市町村教育委員会の連絡強調と、教育の調査研究等を実施により本市教育行政の進展を図る。
現状、背景	いじめ、不登校問題等教育を取り巻く環境は日々変化しており、県内他市町村との連絡強調がより重要になっている。昭和31年度から加入。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	9038 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会負担金
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	3	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	3	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	3

事業概要	全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会加入のための負担金。
事業目的	全国の公立学校難聴・言語障害教育関係の研究会相互の緊密な連携を保ち、本市の難聴・言語障害教育の振興を図る。
現状、背景	余子小学校に通級指導教室を設置。現在、市内小学校から１０名程度が通っている。昭和４６年度から加入。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	10461 学校活動用バス運行事業
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,408	01 報酬	0	11 需用費	309	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	35	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	1,164	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,408	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	900	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,408

事業概要	スクールバス運行や各種大会参加など、学校活動に関係した事業に使用するためのバスの運行に係る経費を負担する。
事業目的	スクールバス委託費及び各種大会参加費の一部を削減するほか、学校活動や授業の中で様々な体験学習に活用する。
現状、背景	格安の高速バスによる事故を受け、安全確保を目的に平成２６年度から貸切りバスの運賃改定が行われたことにより、一部の業務においては貸切りバスの利用料が従来の３倍近い金額となった。□このため、平成２７年度に５年間のリース契約により、マイクロバス１台を学校行事用として導入した。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	10681 学校教職員指導力向上推進事業
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		85	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	85	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	85	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	85

事業概要	市内小中学校教職員の指導力の向上を図り、地域に根差した教職員の育成を推進するために、研修を実施する。
事業目的	これからの将来を担う子どもたちの教育の充実を図るため、市内小中学校教職員に地域に根差した教育の推進を中心とした指導力の向上を図る。特に、国際理解教育・英語教育・道徳教育を中心として、主体的・協働的な学びの推進、学校・学級経営力の向上を目指す。
現状、背景	境港市という地域性から、今後更なる国際理解教育・英語教育の推進が必要となっている。また、次世代を担う子どもたちに、地域と共に心情を育む教育（道徳教育）の必要性も高まってきている。次期学習指導要領では、新たな学びである「アクティブラーニング」も提唱されていて、将来を想定した教職員の研修が必要となってきた。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	10707 学校業務支援システム運用事業
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,949	01 報酬	0	11 需用費	28	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,921	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,949	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,949

事業概要	県下共通のシステムの導入による運用経費を計上する。
事業目的	学校現場における業務効率を向上させ、児童生徒に向き合う時間の拡大及び指導内容の充実、教員の多忙感解消を図るほか、学校間及び学校内における情報連携の強化を推進する。□さらに、転勤で勤務地が変わっても共通システムを使用していると、すぐに対応することができる。
現状、背景	システム操作に慣れるまでは手間取ることも多かったが、現在は、教員の多忙間解消及び情報連携の強化につながっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	10721 地域学校協働推進事業
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,201	01 報酬	1,522	11 需用費	87	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	2,884	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	272	14 使用料及び賃借料	131	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,317	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	2,005	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	841	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	343	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,201

事業概要	中学校区のコミュニティースクール（学校運営協議会）を導入した校区については、地域とともにある学校づくりを進める。また、導入に至っていない校区については、導入準備を図り、児童生徒のために地域と学校が協働する体制を構築する。
事業目的	コミュニティースクール（学校運営協議会）を設置することで、学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校運営に取り組み、「地域とともにある学校」を目指し、境港市ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりを進める。
現状、背景	児童生徒数の減少や多様化・複雑化する社会状況の変化等を背景に、小中学校の統廃合や、今後少子化の更なる進行により、学校の小規模化に伴う教育上のデメリットの顕在化や、学校がなくなることによる地域コミュニティの衰退が懸念されており、各市町村の実情に応じた活力ある学校づくりの推進が求められている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	1	教育総務費	10 教育総務課	10749 特別支援学校児童生徒通学支援事業
	目	2	事務局費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,091	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	545	03 職員手当等	0	13 委託料	1,091	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	546	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,091

事業概要	県立特別支援学校に就学する者で通学バスや公共交通機関などによる通学が困難なものを対象として、通学のための送迎を行うタクシー業者を委託する費用を負担する。
事業目的	県立特別支援学校に就学する者で通学バスや公共交通機関などによる通学が困難なものを対象として自動車を使用して行う通学のための送迎に対し、児童生徒の通学の安全及び保護者の負担軽減を図るもの。
現状、背景	現在、県立の養護学校に市内児童生徒（義務教育段階）が通学している。その内3名の児童生徒に、病状により通学バスを使用できなくなり可能性がある。通学バスに長期にわたり利用できない場合には、タクシー会社に委託して送迎を行う必要が出てくることが考えられる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8430 小学校管理費
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		86,781	01 報酬	13,503	11 需用費	47,239	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	4,493	02 給料	0	12 役務費	5,566	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	10,881	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	2,443	14 使用料及び賃借料	4,394	24 投資及び出資金	0
	その他	5,181	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	77,107	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	2,745	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	10	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	86,781

事業概要	電気・空調設備保安業務、浄化槽維持管理、消防設備保守点検など、小学校施設の維持管理を行うための経費や、各校に1名配置している学校主事の人件費などを予算化している。
事業目的	施設の適切な維持管理を行うことで、児童に安全で快適な教育環境を提供する。
現状、背景	市内全7小学校に冷暖房設備及び太陽光発電設備を設置している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8432 小学校備品整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,160	01 報酬	0	11 需用費	759	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5,160	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	4,401	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,160

事業概要	児童への適切な学習指導を行うため、教育活動に必要な備品購入費を予算化している。□
事業目的	老朽化した備品の取替えや新たに必要となった教育備品を購入することで、児童により良い学習環境の場を提供する。
現状、背景	既存教育備品の老朽化が著しいため、学校現場からは買い換えをなどを要望する声が大きい。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8433 小学校施設整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		29,780	01 報酬	0	11 需用費	18,354	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	125	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	11,176	25 積立金	0
	一般財源	29,780	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	125	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	29,780

事業概要	小学校施設の整備のための費用を予算化している。
事業目的	小学校施設は、児童が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、危険箇所等の修繕を早急に行い、快適で十分な安全性、衛生的な環境を確保する。
現状、背景	市内小学校の校舎は昭和 40～50 年代の建設であり、平成 22 年度に誠道小を除いた全ての小学校の耐震補強及び大規模改修を実施し、本体部分については不安が減少しているが、各施設の老朽化が顕著であり、施設の維持のための修繕や工事が必要となっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8436 小学校少人数学級実施事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		10,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	10,000	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	10,000
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	10,000

事業概要	鳥取県では、小学校１、２年生の３０人学級、３～６年生の３５人学級を国に先駆けて実施しており、３～６年生における加配教員の人件費相当の１／２を協力金として鳥取県に支払っている。
事業目的	少人数学級を実施することにより、児童１人１人に教員の目が行き届き、きめ細かな対応が可能となり、学力の向上につなげる。
現状、背景	児童１人１人に教員の目が行き届き、きめ細かな対応ができるため、児童が落ち着いて勉強できる。また、教室もゆつたりと使えるので、学校公開の際の保護者の意見も好評である。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8441 小学校指導補助員配置事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		18,069	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	2,153	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	18,069	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	15,916	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	18,069

事業概要	学力問題や心の問題をはじめ、LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）児童等、特別な支援が必要な児童に対して、各学校に指導補助員を配置する。指導補助員の人件費を予算化している
事業目的	指導補助員を配置することで、特別な支援が必要な児童への個別的な学習支援や補助を行う。
現状、背景	平成 20 年度から各小学校に指導補助員を配置し、現在はすべての小学校を 2 名体制としている。特別な支援を必要とする児童の数は年々増加しており、学校現場からのニーズは高い。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9432 小学校グラウンド芝生維持管理事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,511	01 報酬	0	11 需用費	1,504	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,007	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,511	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
シルバー人材センターへ芝生の維持管理 を委託する。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,511

事業概要	市内全小学校の校庭を芝生化している。平成３０年度からシルバー人材センターへ維持管理を委託する費用と肥料や芝刈り機の燃料及び修繕費等の経費を予算化している。
事業目的	市内全小学校の校庭の芝生を維持することにより、児童の健康増進や飛び砂の防止、温度上昇の抑制を行う。また、維持管理をシルバー人材センターに委託することにより定期的に適切な芝生の管理を行う。
現状、背景	平成２０年度に誠道小学校の校庭を芝生化し、平成２２年度には残りの６校を芝生化した。なお、維持管理については、保護者・地域と学校、市教委で役割分担して行っていたが、平成３０年度から定期的な管理を行うためシルバー人材センターに委託する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10567 小学校体育館改修事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		59,951	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	8,805	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	2,819	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	57,132	25 積立金	0
	一般財源	51,146	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	59,951

事業概要	昭和 49 年から昭和 60 年に整備され老朽化が懸念される体育館を年次的に改修する。
事業目的	市内小学校体育館の機能維持と利用者の安心・安全の確保を目的とする。
現状、背景	各小学校体育館について部分的な改修は実施されているが、全面的な改修は実施されていない。□屋根防水の劣化による雨漏りや外壁の劣化による壁材落下、露筋、床の劣化は施設の耐久性に悪影響を与えるだけでなく利用者の安全確保の点からも問題となる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10665 小学校 ICT 環境整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		33,181	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	532	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	6,043	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	26,606	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	33,181	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
普通教室に液晶ディスプレイ、教師用・児童用タブレットパソコンを導入する。また、ICT 機器の活用を促進するために、ICT 支援員を配置し、ICT 機器の運用支援や授業支援を実施するとともに、教師のスキルアップを図る。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	33,181

事業概要	ICT を効果的に活用した分かりやすく深まる授業を実現するために、ICT 等の環境を整備する。
事業目的	各教科等の指導に当たっては、児童が主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を行わなくてはならない。そこで、学習活動の充実を目指し、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を有効に活用することができるよう、ICT 等の環境整備を行う。
現状、背景	確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実や、グループ学習、ICT 等の積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新が求められており、液晶ディスプレイやタブレットパソコンの導入、Wi-Fi 環境整備も計画的に実施している。

その他	
-----	--

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10888 小学校除雪機整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,912	01 報酬	0	11 需用費	139	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	77	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,912	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	1,696	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,912

事業概要	積雪時、学校運営に支障をきたさないよう各小学校に除雪機を配置する。
事業目的	学校敷地内を除雪し、児童の安全確保と給食配送車の受け入れ態勢を整える。
現状、背景	教職員の手作業による除雪を行っているが、業務に支障が出る。□自治防災課からの移管2台、新規購入5台を各校に配置する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8446 小学校就学援助費
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		8,315	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	550	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	7,765	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	8,315	計	8,315

事業概要	経済的理由により就学困難な児童に対し、義務教育を受けるために必要な経費（給食費、校外活動費など）を援助する。
事業目的	就学に係る必要経費の一部を援助し、家庭の経済的負担を軽減することで、すべての子どもが等しく教育力の向上を図ることができる。
現状、背景	就学援助を受ける児童数は平成 25 年度をピークとしてわずかながら減少しているものの、依然として必要とされている制度である。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8447 小学校教育振興管理費
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		11,643	01 報酬	0	11 需用費	773	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	380	02 給料	0	12 役務費	231	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	2,866	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	11,263	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	174	18 備品購入費	7,596	28 繰出金	0
			09 旅費	3	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	11,643

事業概要	小学校教育に必要な教材備品や図書の購入費用、連合体育大会・水泳大会・音楽会・作品展等の各種行事に必要な費用を予算化している。
事業目的	教育活動に必要な物品を購入するなど、諸条件を整備して教育の充実・振興を図る。
現状、背景	平成３１年度からは、新しい学習指導要領となる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8455 小学校図書館職員配置事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		6,907	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	306	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	6,907	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	6,601	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	6,907

事業概要	蔵書整理や読書指導を充実させるため、学校図書館に職員 1 名を配置するもので、職員の賃金などを予算化している。
事業目的	学校図書館に専属の職員が配置されることで、速やかな本の検索が可能となる。また、職員との対話の中で児童の読書に対する興味が強まるなど、児童の読書活動が推進される。
現状、背景	平成 1 8 年度に学校図書館の電算化に行い、学校と市民図書館で蔵書情報を共有し、互いに蔵書の貸し借りを行っている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8456 沖縄・伊平屋村教育交流事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,500	01 報酬	0	11 需用費	90	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	47	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	2,304	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	59	24 投資及び出資金	0
	その他	2,500	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,500

事業概要	(株)海産物のきむらやの全面協力のもと、沖縄県伊平屋村教育委員会と協同して児童の健全育成のため、相互の地域特性を活かした相互訪問を行う。夏に各校の5年生児童の代表が伊平屋村を訪問し、冬には伊平屋村から児童が本市を訪問する。相互交流に係る費用を予算化している。□
事業目的	それぞれの地域に特性があることから、貴重な体験に出会うとともに、互いの交流が深まり、視野の広い児童に育成することができる。
現状、背景	作文等で選考された5年生の代表者が、夏休みに伊平屋村を訪問し、冬には伊平屋村から児童を招き、一緒にスキー等交流している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9045 鳥取県小学校体育連盟負担金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		24	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	24	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	24	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	24

事業概要	鳥取県小学校体育連盟加入のための負担金
事業目的	鳥取県小学校体育連盟が主催する各種大会に出場するための負担金を払う。
現状、背景	
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9046 小学校各種大会参加費補助金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		515	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	515	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	515	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	515

事業概要	鳥取県小学校陸上大会など、出場選手を各種大会に派遣するために必要なバスの借上げ料を予算化している。
事業目的	各種大会での体験を通じて、協力や協調性が身につくなどの教育効果が期待できるとともに、本市における体育文化活動の振興を図ることができる。
現状、背景	夏の水泳大会と秋の陸上大会に選手を派遣している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9525 境港市版社会科副読本作成事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		350	01 報酬	0	11 需用費	350	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	350	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	350

事業概要	小学生３年生を対象とした社会科副読本「私たちの境港市」を作成し、児童が地域社会の生活についての理解を深め主体的に学習に取り組むとともに、郷土を愛する心を育てるための教材とする。現状に即した内容にするため、３年に一度改定している。
事業目的	小学校３年生を対象とした社会科学習において、「私たちの境港市」と題した副読本を使うことにより、郷土についての関心を高め、郷土を愛する心を育てる。
現状、背景	前回は平成 28 年度に３年間分（平成 29～31 年度）を作成している。平成 31 年度に、平成 32 年度から平成 34 年度の間使用する副読本を作成する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9526 小学校教科書採択協議会負担金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		58	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	58	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	58	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	58

事業概要	平成３２年度の指導要領の改訂に伴う教科書改訂に伴い、平成３２年度から使用する小学校教科用図書を採択するための協議会負担金。
事業目的	西部地区市町村において種目ごとに同一の教科用図書を採択するための調査研究及び協議を行う。
現状、背景	平成 32 年度から開始される新学習指導要領に伴い、教科書についても平成 32 年度から改定された教科書が使用される。これに伴い、平成 31 年度に教科書採択協議会が行われることとなっており、西部地区市町村がその負担金を提出することになっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9725 小学校教師用教科書・指導書購入事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		986	01 報酬	0	11 需用費	986	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	986	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	986

事業概要	平成 30 年度に、平成 31 年度より使用する教科書の採択が行われたが、平成 27 年度からの使用している教科書と変わらない採択となった。そのため、主に特別支援学級児童の進級に伴う補充による購入を行う。
事業目的	授業づくりに向けての単元構成の工夫、学習計画の立案、教材研究・評価等の充実のための参考とする。□
現状、背景	平成 31 年度から新たに使用する教科書が、平成 27 年度から使用している教科書と同じものが採択されたため、児童の学年が上がるため追加購入が必要となる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10147 小学校よりよい学級づくり事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		313	01 報酬	0	11 需用費	313	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	313	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	313

事業概要	いじめや不登校の早期発見・早期対応へつなげるために、QU(児童心理テスト)を年2回(5～6月、10～11月)行う。
事業目的	児童の学級に対する満足度の尺度を特定し、それに合わせた指導や支援を行うことで、いじめや不登校の早期発見・早期対応へつなげる。
現状、背景	大津市での事件以降、全国的にもいじめ問題がクローズアップされているが、実際に発見することは容易ではなく、本市でも苦慮している。また、不登校児童もゼロではない。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10153 小学校学力向上事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		835	01 報酬	0	11 需用費	835	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	835	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	835

事業概要	<p>小学校 5 年生を対象に国語・算数・社会・理科、小学校 4 年生を対象に国語・算数の CRT 学力調査を行い、児童の学力定着の度合を把握する。また、小学校 3 年生を対象に国語・算数の CRT 学力検査を行い、小学校での先導教科である国語・算数の経年比較による授業改善・学力の定着を図る。</p>
事業目的	<p>CRT 学力調査を行い児童の学力定着の度合いを把握することで、学習指導に役立て、学力向上を図る。</p>
現状、背景	<p>平成 30 年度の全国学力学習状況調査の結果、活用する力に課題が見られる。また、算数においても課題が見られるため、さらに授業改善等を進めるために、児童の実態を的確に把握する必要がある。</p>
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10268 小学校教職員用パソコン設置事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		15,786	01 報酬	0	11 需用費	434	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	5,204	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	10,148	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	15,786	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	15,786

事業概要	教職員の校務用パソコンを設置する。
事業目的	教職員の校務用パソコンを更新し、校務の円滑化及びセキュリティ機能の強化を図る。
現状、背景	教職員が校務用として使用するパソコンのリース期間満了に伴い、平成31年度にパソコンを更新するための経費を予算化している。平成30年度より、「学校業務支援システム」及び「勤怠管理システム」が県内で一斉に運用開始入され、校務用パソコンの整備は必要不可欠となっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10669 小学校英語教育推進事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		338	01 報酬	0	11 需用費	80	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	40	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	338	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	194	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	24	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	338

事業概要	小学校の外国語活動と英語科の導入を見据え、外国語活動・英語教育の充実を図る。島根大学と連携して、大学生や留学生を中心として、楽しみながら外国語活動を行い、英語を意欲的に活用しようとする力の育成を目的とした活動を行う。
事業目的	これからの境港市や日本を支える児童を育成するために、地域の特性を活かした外国活動・英語教育を実施する。英語好きを育て、積極的・意欲的に外国語の文化に触れ、英語を活用しようとする児童を育成する。
現状、背景	境港市は、3つの港を有し、外国との関わりが大きい。今後は、基幹産業である水産業や観光の分野でも、外国人とのコミュニケーションは重要になって来るものと思われる。これからを担う子どもたちが、進んで外国文化に触れ、コミュニケーションを図っていける能力は、大変重要な力となってきた。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10824 外国語指導助手招致事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4,994	01 報酬	3,800	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	529	14 使用料及び賃借料	652	24 投資及び出資金	0
	その他	318	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	4,676	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	13	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	4,994

事業概要	小学校に外国人の英語指導助手を配置し、児童を指導する。
事業目的	児童の国際感覚を養い、異文化理解を深めるとともに、文法だけでなく実際に必要な会話能力を育成する。
現状、背景	現在の指導助手は２９年夏に来日した。直接外国人と会話することにより、英語への理解力が高まる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	10826 小学校組織力向上支援事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,400	01 報酬	0	11 需用費	140	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,400	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	700	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	560	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,400

事業概要	各小学校の組織力の向上を支援し、教育的課題解決に資する研修の実施及び教職員の研修への派遣等を行うために必要な経費を予算化する。
事業目的	各小学校が教育的課題の解消に向けた、研修の実施及び専門家の招聘や教職員の研修参加を行うことで、教職員の専門性と各小学校の組織力の向上を図る。
現状、背景	各小学校が抱える教育的課題は、それぞれ個別のものであり、学校単位で研修を深める必要がある。また、新学習指導要領の完全実施及び学力向上、生徒指導上の諸課題の解消に向けて、学校全体の組織力・教育力を向上させる必要がある。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	8459 小学校保健衛生費
	目	3	学校保健衛生費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		7,530	01 報酬	3,976	11 需用費	526	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	2,700	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	40	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	7,530	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	288	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	7,530

事業概要	学校保健安全法に基づき、就学時健康診断、耳鼻科検診などを実施する。主なものは学校医等の報酬。
事業目的	小学校の児童及び職員の健康の保持増進に努める。
現状、背景	学校の養護教諭、学校医等と連携をとりながら、児童及び職員の健康の保持増進に努めている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9048 日本スポーツ振興センター共済掛金(小学校)
	目	3	学校保健衛生費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,565	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	669	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	896	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	1,565	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,565

事業概要	学校管理下における児童の事故災害に対して給付を行うことを目的に、日本スポーツ振興センターへ共済掛金の支払いを行う。
事業目的	児童の事故災害に対する給付を確保し、心身の健全な育成を図る。
現状、背景	小学校に通う全児童が加入している。金額は1人当たり945円。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	2	小学校費	10 教育総務課	9762 境港市学校保健会補助金
	目	3	学校保健衛生費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		92	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	92	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	92	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	92

事業概要	学校と学校医の先生を中心とした境港市学校保健会の運営に係る費用の一部を補助する。
事業目的	境港市の学校保健に関する諸問題を研究協議して学校保健の振興を促進し、心身ともに健全な児童生徒の育成に寄与する。
現状、背景	春と冬に講師先生を招いての講演会の開催と養護教諭を対象とした夏の講習会を中心に活動を行っている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8460 中学校管理費
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		42,542	01 報酬	4,566	11 需用費	27,174	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	1,693	02 給料	0	12 役務費	2,305	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	5,081	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	815	14 使用料及び賃借料	1,676	24 投資及び出資金	0
	その他	518	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	40,331	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	915	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	10	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	42,542

事業概要	電気・空調設備保安業務、浄化槽維持管理、消防設備保守点検など、中学校施設の維持管理を行うための経費や、各校に1名配置している学校主事の人件費などを予算化している。
事業目的	施設の適切な維持管理を行うことで、生徒に快適な教育環境を提供する。
現状、背景	平成23年度に第一中学校、平成25年度に第三中学校及び第二中学校に冷暖房設備を設置し、学習環境の向上を図った。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8462 中学校備品整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,783	01 報酬	0	11 需用費	629	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,783	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	2,154	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,783

事業概要	生徒へ適切な学習指導を行うために必要な教育備品の購入費を予算化している。□
事業目的	老朽化した備品の取替えや新たに必要となった教育備品を購入することで、生徒により良い学習環境の場を提供する。
現状、背景	既存教育備品の老朽化が著しいため、学校現場からは買い換えをなどを要望する声が大きい。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8463 中学校施設整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		9,155	01 報酬	0	11 需用費	6,973	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	2,110	25 積立金	0
	一般財源	9,155	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	72	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	9,155

事業概要	中学校施設の整備のための費用を予算化している。
事業目的	中学校施設は、生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることから、危険箇所等の工事、修繕を早急に行い、快適で十分な安全性、衛生的な環境を確保する。
現状、背景	第二中学校の校舎は、平成 25 年度に改築を実施しているが、第一中学校の校舎は一番古いもので昭和 37 年、第三中学校の校舎は昭和 59 年の建設であり、平成 23 年度に第一中学校は耐震補強及び大規模改修を実施し、本体部分については不安が減少しているが、各施設の老朽化が顕著であり、施設の維持のための修繕や工事が必要となっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8464 中学校少人数学級実施事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,000	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	2,000
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,000

事業概要	鳥取県では中学１年生の３３人学級、２～３年生の３５人学級を国に先駆けて実施しており、２～３年生における加配教員の人件費相当の１／２を協力金として鳥取県に支払っている。
事業目的	小学校から中学校へあがってきて不安を抱えている新一年生の３３人学級、２～３年生の３５人学級を実施することにより、生徒１人１人に教員の目が行き届き、きめ細かな対応が可能となり、学力の向上、不登校の抑止を行う。
現状、背景	平成２０年度から中学校でも少人数学級に取り組んでいる。環境の変化や思春期により不登校になりやすい生徒１人１人にきめ細やかな対応が可能となり、実施以前と比べると生徒１人１人の落ち着きが増している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8466 中学校指導補助員配置事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		7,858	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	1,037	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	7,858	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	6,821	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	7,858

事業概要	学力問題や心の問題をはじめ、LD（学習障がい）、ADHD（注意欠陥／多動性障がい）生徒等、特別な支援が必要な生徒に対して、各学校に指導補助員を配置する。指導補助員の人件費を予算化している
事業目的	指導補助員を配置することで、特別な支援が必要な生徒への個別的な学習支援や補助を行う。
現状、背景	平成 21 年度から各中学校に指導補助員を配置し、現在はすべての中学校を 2 名体制として。特別な支援を必要とする生徒の数は年々増加しており、学校現場からのニーズは高い。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9763 中学校グラウンド芝生維持管理事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		523	01 報酬	0	11 需用費	379	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	144	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	523	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
シルバー人材センターへ芝生の維持管理 を委託する。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	523

事業概要	第一中学校の校庭及び第二中学校外構部分を芝生化している。平成３０年度からシルバー人材センターへ維持管理を委託する費用と肥料や芝刈り機の燃料及び修繕費等の経費を予算化している。
事業目的	第一中学校の校庭及び第二中学校外構部分の芝生を維持することにより、生徒の健康増進や校庭の飛び砂の防止、温度上昇抑制を行う。また、維持管理をシルバー人材センターに委託することにより定期的に適切な芝生の管理を行う。
現状、背景	平成２０年度に実施した誠道小学校の校庭芝生化を受け、第一中学校で２２年度に芝生化を実施した。第二中学校の外構部分については２６年度に芝生化している。維持管理については、保護者・地域と学校・市教委で明確に役割分担して行っていたが、平成３０年度から定期的な管理を行うためシルバー人材センターに委託する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10404 中学校楽器整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,381	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,381	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	1,381	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,381

事業概要	中学校の老朽化した楽器等を、優先順位をつけて計画的に更新する。
事業目的	中学校で使用している楽器の中には古くて使用に支障があるものや、20人編成に必要な楽器で揃っていないものがあるため、優先順位を付けてこれを整備する。
現状、背景	平成27年度より、老朽化した楽器を計画的に更新している。今後も更新が必要な楽器については、計画的に整備する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10668 中学校 ICT 環境整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		15,022	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	228	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,413	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	13,381	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	15,022	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
普通教室に教師用・生徒用タブレットパソコンを導入する。また、ICT 機器の活用を促進するために、ICT 支援員を配置し、ICT 機器の運用支援や授業支援を実施するとともに、教師のスキルアップを図る。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	15,022

事業概要	ICT を効果的に活用した分かりやすく深まる授業を実現するために、ICT 等の環境を整備する。
事業目的	各教科等の指導に当たって、生徒が主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動を充実され、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ることができるよう、ICT 等の環境整備を行う。
現状、背景	確かな学力をより効果的に育成するため、言語活動の充実や、グループ学習、ICT 等の積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業革新が求められており、液晶ディスプレイやタブレットパソコンの導入、Wi-Fi 環境整備も計画的に実施している。

その他	
-----	--

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10879 第三中学校施設整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		11,550	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	11,550	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	11,550	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	11,550

事業概要	第三中学校の大規模改造工事及び下水道接続工事を実施する。
事業目的	老朽化した施設の大規模改造を行うことで生徒の安全を確保するとともに教育環境の整備を図る。
現状、背景	第三中学校校舎：昭和 59 年 12 月建築□平成 31 年度：設計□平成 32 年度：工事
その他	工事内容□外部：外壁改修、屋上防水改修、渡廊下改修、下水道接続等□内部：床改修、建具改修、トイレ改修、設備改修等

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10889 中学校除雪機整備事業
	目	1	学校管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,110	01 報酬	0	11 需用費	60	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	33	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,110	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	1,017	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,110

事業概要	積雪時、学校運営に支障をきたさないよう各中学校に除雪機を配置する。
事業目的	学校敷地内を除雪し、生徒の安全確保と給食配送車の受け入れ態勢を整える。
現状、背景	教職員の手作業による除雪を行っているが、業務に支障が出る。□3台新規購入し各校に配置する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8469 中学校教育振興管理費
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,473	01 報酬	0	11 需用費	569	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	190	02 給料	0	12 役務費	40	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	471	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5,283	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	4,393	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,473

事業概要	中学校教育に必要な教材備品や図書の購入費、体育・文化活動に係る経費を予算化している。
事業目的	中学校教育の目的を遂行するために必要な諸条件を整備し、教育の振興を図る。
現状、背景	平成３１年度は現行の学習指導要領の最終年度であり、平成３２年度からは新しい学習指導要領となる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8470 中学校就学援助費
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		10,202	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	330	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	9,872	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	10,202	計	10,202

事業概要	経済的理由により就学困難な生徒に対し、義務教育を受けるために必要な経費を援助する。就学援助費、特別支援教育就学奨励費などを予算化している。
事業目的	就学に係る必要経費の一部を援助することにより、家庭の経済的負担を軽減する。
現状、背景	離婚率の上昇、経済不況の深刻化により、就学援助を受ける生徒数の割合は年々増加している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8475 運動部活動外部指導者活用事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		222	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	4	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	105	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	117	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	211	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	7	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	222

事業概要	中学校の運動部で、顧問が当該種目に関して専門的知識や技術を有しない運動部を対象に、市教育委員会が外部指導者を委嘱・派遣する。指導者の謝金等を予算化している。
事業目的	学校教育活動として位置づけられている運動部活動において、地域の専門的指導者を活用することで、地域社会との連携が深まり、運動部活動の活性化が図れる。
現状、背景	平成３１年度は２人の指導者を予定している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8479 中学校図書館職員配置事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,960	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	131	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,960	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	2,829	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,960

事業概要	蔵書整理や読書指導を充実させるため、各学校図書館に職員 1 名を配置するもので、職員の賃金などを予算化している。
事業目的	学校図書館に専属の職員が配置されることで、速やかな本の検索が可能となる。また、職員との対話の中で生徒の読書に対する興味が強まるなど、読書活動が推進される。
現状、背景	平成 1 8 年度に学校図書館の電算化に行い、学校と市民図書館で蔵書情報を共有し、互いに蔵書の貸し借りを行っている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8480 国際理解教育推進事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,739	01 報酬	0	11 需用費	20	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	55	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	2,664	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,739	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,739

事業概要	各中学校から毎年、作文により希望者を選抜し、アジア諸国などに派遣して国際理解と相互理解を体験学習する。交通費、宿泊費、研修経費などを予算化している。
事業目的	現地の風習に親しみ、見聞を広めることで、国際理解教育の推進を図る。
現状、背景	平成２８年度及び平成２９年度は、境港市と関係の深いロシアとの交流の歴史や現在の課題を学ぶため、根室市への研修を実施していたが、平成３０年度はシンガポール共和国へ派遣している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8481 中学生職場体験推進事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		273	01 報酬	0	11 需用費	143	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	110	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	273	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	20	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	273

事業概要	少子化等の進展に伴って、社会性の不足、規範意識の低下、人間関係や連帯感の希薄化などが、子どもたちの課題となっている。こういった課題の解消を図るため、中学校2年生全員を対象に、市内事業所での職場体験学習を行い、必要な経費を予算化する。
事業目的	職場体験することで、望ましい勤労観・職業観が身につき、コミュニケーション能力の向上が図れ、地域への愛情や誇りを持つことができるなど、課題の解消につながる。
現状、背景	中学2年生全員が対象、事業所の選定、体験学習の依頼、職場体験後のお礼といったことも生徒へ対応させている。23年度から3校が同時期に一斉に職場体験学習を実施することとした。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9072 中学校各種競技大会参加費補助金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		9,884	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	9,884	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	9,884	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	9,884

事業概要	県総合体育大会・県中学校吹奏楽コンクールなど、出場選手を各種大会に派遣するために必要なバスの借上げ料を予算化している。
事業目的	各種大会での体験を通じて、協力や協調性を学ぶなどの教育効果が期待できるとともに、本市における体育文化活動の振興を図ることができる。
現状、背景	
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9081 鳥取県中学校文化連盟負担金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		12	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	12	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	12	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	12

事業概要	鳥取県中学校文化連盟加入のための負担金
事業目的	鳥取県中学校文化連盟が主催する各種大会に出場するための負担金を支払う。
現状、背景	
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9082 鳥取県中学校体育連盟負担金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		334	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	334	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	334	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	334

事業概要	鳥取県中学校体育連盟加入のための負担金
事業目的	鳥取県中学校体育連盟が主催する各種大会に出場するための負担金を支払う。
現状、背景	
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9084 中国大会等参加費負担金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		333	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	333	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	333	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	333

事業概要	中西部地区大会、中国大会、全国大会に出場するための負担金。
事業目的	中西部地区大会、中国大会、全国大会に出場するための負担金を支払う。
現状、背景	
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9088 一般財団法人自治体国際化協会負担金(外国語指導助手)
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		104	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	104	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	104	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	104

事業概要	英語指導助手を招致するために、一般財団法人自治体国際化協会に支払う負担金。信頼のおける英語指導助手を招致するために同協会に依頼している。
事業目的	英語指導助手を招致するために、一般財団法人自治体国際化協会に負担金を支払う。
現状、背景	平成２７年度に英語指導助手が交代している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9723 中学校教科書採択協議会負担金
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		15	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	15	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	15	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	15

事業概要	平成３２年度から使用する改定された教科書を採択するための協議会負担金。
事業目的	西部地区市町村において種目ごとに同一の教科用図書を採択するための調査研究及び協議を行う。
現状、背景	採択され平成３２年度から使用される教科書は使用期間は１年であり、平成３３年度からは新学習指導要領に沿った教科書を使用するため、平成３２年度に再度採択協議会が実施される。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9960 中学校教師用教科書・指導書購入事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		946	01 報酬	0	11 需用費	946	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	946	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	946

事業概要	平成 31 年度から新たに導入される「特別の教科 道徳」について、普通学級、特別支援学級及び少人数学級での指導に必要な教師用教科書・指導書を購入する。
事業目的	授業づくりに向けての題材構成の工夫、学習計画の立案、教材研究・評価等の充実のための参考とする。
現状、背景	新たに教科化された「特別の教科 道徳」の教科書が採択されたことにより、平成 31 年度から使用する通常学級、特別支援学級、少人数学級で使用する教師用の教科書・指導書の購入が必要である。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10154 中学校よりよい学級づくり事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		187	01 報酬	0	11 需用費	187	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	187	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	187

事業概要	いじめや不登校の早期発見・早期対応へつなげるために、 QU (生徒心理テスト)を年 2 回(5 月、10 月)行う。
事業目的	生徒の学級に対する満足度の尺度を特定し、それに合わせた指導や支援を行うことで、いじめや不登校の早期発見・早期対応へつなげる。
現状、背景	大津市での事件以降、全国的にもいじめ問題がクローズアップされているが、実際に発見することは容易ではなく、本市でも苦慮している。また、不登校生徒数もゼロではない。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10155 中学校学力向上事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,019	01 報酬	0	11 需用費	3,019	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	3,019	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	3,019

事業概要	中学校 2 年生を対象に国語・数学・社会・理科の CRT 学力調査を行い、生徒の学力定着の度合いを把握することで、今後の教師の指導方法や重点単元の割出等に活用する。スコア型英語テスト（4 領域）を年中学校 2 年年生と 3 年生で、生徒の学力定着の度合いを測るとともに、教職員の授業力向上のために P D C A サイクルを展開し、生徒の学習意欲の向上と先導教科としての英語学力の向上を図る。
事業目的	「基礎・基本の確実な定着」の評価をえることで、生徒の学習指導に役立てる。
現状、背景	各学校ごとの課題を客観的に把握することができ、学力向上へ向けての具体的な取組につながっている。平成 28 年度の全国学力学習状況調査では、数学の結果に課題が見られ、また、「書くこと」についても指導の改善が必要である。全教科を通じ、授業改善を図り、教師の指導力を向上させることで、生徒の学力の定着を図る必要がある。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10269 中学校教職員用パソコン設置事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		7,405	01 報酬	0	11 需用費	214	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	2,231	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	4,960	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	7,405	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	7,405

事業概要	教職員の校務用パソコンを設置する。
事業目的	教職員の校務用パソコンを更新し、校務の円滑化及びセキュリティ機能の強化を図る。
現状、背景	教職員が校務用として使用するパソコンのリース期間満了に伴い、平成31年度にパソコンを更新するための経費をを予算化している。平成30年度より、「学校業務支援システム」及び「勤怠管理システム」が県内で一斉に運用開始され、校務用パソコンの整備は必要不可欠となっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10302 スクールソーシャルワーカー活用事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4,256	01 報酬	2,955	11 需用費	40	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	2,864	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	529	14 使用料及び賃借料	98	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,392	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	610	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	24	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	4,256

事業概要	いじめ、不登校、児童虐待など生徒指導上の問題に対応するため、専門的な知識・技術を用いて、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけて支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、学校と関係諸機関を結び、支援体制を構築する。
事業目的	事業概要に同じ
現状、背景	生徒指導上の問題が複雑になり、問題によっては、他機関との連携が必要となり、学校での対応が難しい現状がある。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10427 特別支援教育総合推進事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,149	01 報酬	1,522	11 需用費	50	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	716	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	272	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,433	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
H28 年度は関節補助で県より 2/3 補助。 H29 は国の直接補助 1/3 となり、 H29 に限 って県補助 1/3 となった。 H30 は県補助は なくなり、国の 1/3 のみとなる。□特別支 援教育に関わる書籍の購入や保育園幼稚 園に対する就学指導に関わる消耗品費の 増額			08 報償費	305	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,149

事業概要	発達障がいを含むすべての障がいのある幼児・児童・生徒への一貫した支援を行うため、幼稚園・保育所、小学校、中学校における特別支援教育を総合的に推進するため、地域支援コーディネーターを配置する。
事業目的	事業概要に同じ

現状、背景	発達障がいを含むすべての障がいのある幼児・児童・生徒への教育的ニーズが増加しており、幼稚園・保育所、学校等を含む関係機関との連携やさらなる地域の体制整備の推進が必要となってきている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10701 中学校外国語指導業務委託事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		19,939	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	19,939	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	19,939	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	19,939

事業概要	<p>中学校の生徒を対象とした実践的な英語教育を実施するため、外国語指導助手（ＡＬＴ）を４名配置し、市内小中学校での授業及び平成２８年度から実施している「小学校土曜英語学習」（うきうきイングリッシュ）にも参加していただく。</p>
事業目的	<p>本市は、国際都市を目指し、英語教育に力を入れており、外国語指導助手（ＡＬＴ）の存在は重要である。□また、近年の英語教育では、「会話」が重視され、その指導においても多様なワーキングスキルが要求されているため、質の高いＡＬＴの派遣が必要である。</p>
現状、背景	<p>ＪＥＴプログラムは、外国青年誘致事業団体であり、外国語指導助（ＡＬＴ）としての研修は、ほとんど行われないため、インタラック派遣のＡＬＴの方が英語学習支援により適している。</p>
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10827 中学校組織力向上支援事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		600	01 報酬	0	11 需用費	60	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	600	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	150	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	390	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	600

事業概要	各中学校の組織力の向上を支援し、教育的課題解決に資する研修の実施及び教職員の研修への派遣等を行うために必要な経費を予算化する。
事業目的	各中学校が教育的課題の解消に向けた、研修の実施及び専門家の招聘や教職員の研修参加を行うことで、教職員の専門性と各中学校の組織力の向上を図る。
現状、背景	各中学校が抱える教育的課題は、それぞれ個別のものであり、学校単位で研修を深める必要がある。また、新学習指導要領の完全実施及び学力向上、生徒指導上の諸課題の解消に向けて、学校全体の組織力・教育力を向上させる必要がある。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	10855 中学校部活動指導員配置事業
	目	2	教育振興費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,443	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	6	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	1,443	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	1,437	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,443

事業概要	教職員の働き方改革、また部活動の顧問不足の解消のため、各中学校に部活動指導員を配置する。
事業目的	教職員の働き方改革、また部活動の顧問不足の解消のため、各中学校に部活動指導員を配置し、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう支援する。
現状、背景	教職員の働き方改革の中で、中学校の教職員にとって部活動は過重負担の原因の一つとなっている。各部活動に指導力があり、専門性の高い指導員を配置することで、生徒の学校生活をより豊かなものにしたい。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	8482 中学校保健衛生費
	目	3	学校保健衛生費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		3,504	01 報酬	1,704	11 需用費	232	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	1,486	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	35	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	3,504	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	47	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	3,504

事業概要	学校保健安全法に基づき、健康診断などを実施する。主なものとして学校医等の報酬などを予算化している。
事業目的	中学校の生徒及び職員の健康の保持増進に努める。
現状、背景	学校の養護教諭、学校保健会等と連携をとりながら、生徒及び職員の健康の保持増進に努めている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	3	中学校費	10 教育総務課	9094 日本スポーツ振興センター共済掛金(中学校)
	目	3	学校保健衛生費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		782	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	318	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	464	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	782	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	782

事業概要	学校管理下における生徒の事故災害に対して給付を行うことを目的に、日本スポーツ振興センターへ共済掛金の支払いを行う。
事業目的	生徒の事故災害に対する給付を確保し、心身の健全な育成を図る。
現状、背景	中学校に通う全生徒が加入している。金額は１人当たり９４５円。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	10 教育総務課	8493 青少年芸術鑑賞事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,258	01 報酬	0	11 需用費	9	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	2,249	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,258	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,258

事業概要	中学校芸術鑑賞教室(毎年 2 校を対象) や青少年劇場巡回公演（小学 3 年生と 5 年生対象）を開催し、生の芸術に触れる機会を創出している。
事業目的	優れた舞台芸術に間近に触れる機会を提供することで、豊かな情操を培い、芸術文化の振興を図る。
現状、背景	境港市の小・中学生は、本物の芸術音楽に触れ合う機会が少ない。境港市の義務教育にいる間に、本物を身近で鑑賞体験することで、心情や情操の育成を図りたい。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	10 教育総務課	8497 適応指導教室「やすらぎルーム」運営事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		4,582	01 報酬	3,123	11 需用費	105	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	85	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	553	14 使用料及び賃借料	146	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	4,582	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	570	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	4,582

事業概要	<p>集団生活への適応性や家庭環境等に問題があり学校へ通うことができない児童生徒に対する受け皿として、適応指導教室「やすらぎルーム」を境港市青少年育成センター内に開設し、集団生活への適応、情緒の安定、基本的生活習慣の改善等のための相談・適応指導などを行い、児童生徒の自立を支援する。</p>
事業目的	<p>不登校児童・生徒の居場所を確保し、相談・適応指導等により自立支援を行うことで、学校への復帰を促し不登校の解消を目指す。</p>
現状、背景	<p>新たな不登校児童生徒を出さないことを重点目標に掲げ、各校で取組んで頂いているが、家庭環境の変化等により不登校になってしまう児童生徒もいる。「やすらぎルーム」ではそのような子どもが学校に通えるよう学校と連携をとりながらすすめている。</p>
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	10 教育総務課	10387 学校給食事業(学校給食センター)
	目	3	学校給食費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		201,330	01 報酬	42	11 需用費	186,150	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	6,634	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,627	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	6,802	24 投資及び出資金	0
	その他	129,167	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	72,163	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	75
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	201,330

事業概要	市内小・中学校10校の児童・生徒を対象に学校給食を提供する
事業目的	学校給食を通じて、児童及び生徒の心身の健全な発達に資するとともに、食に関する正しい理解と適切な判断力を養うため食育の推進を図る。
現状、背景	平成27年度に学校給食センターを稼働し、小学校・中学校すべてで完全給食を実現。同センターは、老朽化していた小学校の給食調理室に代わり、ドライシステムを導入するなど衛生面にも配慮した施設となっている。□
その他	光熱水費、維持管理経費及び賄材料費のほか、学校給食費の徴収に要する経費、調理した給食を各学校へ配送する経費等が含まれる。

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	10 教育総務課	10702 食育推進事業(学校給食センター)
	目	3	学校給食費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		59	01 報酬	0	11 需用費	59	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	59	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	59

事業概要	これまで取り組んできた学校給食を通じた食育に加え、「食」をテーマにした様々な取組を学校給食センターが中核となり行う。
事業目的	学校給食センターが主体的に食育を行うことにより、児童・生徒に対する「食」に関する興味の涵養及び正しい知識の定着を目指す。
現状、背景	食育については、日々提供する給食を通じた教育に加え、県から派遣されている3名の栄養士が個別に担当の小中学校で指導を行っている。一方で、学校給食センターとしての主体的な取組は行われておらず、給食の「サプライヤー」機能のみを果たしている現状であり、市が有するリソースとして十分に活用がなされていない。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	10 教育総務課	10795 学校給食調理等業務委託事業
	目	3	学校給食費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		90,647	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	90,647	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	90,647	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	90,647

事業概要	学校給食センターの調理業務等を民間事業者に委託する。
事業目的	学校給食センターの業務運営を安定的に継続し、これまで以上に安心・安全でおいしい学校給食を提供することを目的に、調理業務等を民間事業者に委託する。
現状、背景	平成31年度から現在2名いる調理員（正規職員）が退職により1名になることにより、調理業務の安定的な運営が困難になることから民間委託を行うものである。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8486 社会教育管理費
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,318	01 報酬	1,662	11 需用費	15	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	274	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,318	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	318	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	49	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,318

事業概要	社会教育活動の指導・助言を行う社会教育指導員 1 名の人件費及び社会教育に関する助言を行う 1 5 名の社会教育委員等にかかる報酬等経費
事業目的	生涯学習課内に社会教育指導員を配置し、また社会教育関係機関及び学識経験者等からなる社会教育委員会で幅広く意見を求め、本市の社会教育の充実を図る。
現状、背景	近年の少子化・核家族化・メディアの発達などにより現代社会をとりまく環境は大きく変化している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8487 成人式記念事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		600	01 報酬	0	11 需用費	418	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	22	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	50	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	600	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	110	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	600

事業概要	新成人が大人として自立する意識をもつことを目的として、式典を開催し祝福する。□ 日 程：平成３２年１月開催予定□ 会 場：文化ホール□ 対象者：平成１１年４月２日～平成１２年４月１日生まれ
事業目的	大人の仲間入りをした新成人の門出を祝う。□
現状、背景	成人の日の前日の日曜日に開催。□過去の出席率：平成２７年度７６％・平成２８年度７６％・平成２９年度７３％
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8489 文化財保護事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		90	01 報酬	18	11 需用費	40	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	90	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	7	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	11	19 負担金補助及び交付金	14	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	90

事業概要	文化財保護審議会を開催し、文化財の保存・活用に向けた調査活動を行う。□また、市内にある文化財を市民に知ってもらうため、「文化財めぐり」等を開催する。
事業目的	市内にある重要な文化財を保存、活用することにより、市民文化の向上に資する。
現状、背景	平成２３年に第４次、平成２９年に第５次文化財指定を行った。引き続き指定文化財の適切な保存・活用を図るとともに、市民への周知に努めていく。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8490 市美術展覧会事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		696	01 報酬	0	11 需用費	176	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	28	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	178	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	696	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	306	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	8	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	696

事業概要	美術作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術・文化の振興を図るため、絵画、工芸、彫刻、書道、写真の5部門に市民から美術作品を募集し、優れた作品を展示する「市美術展覧会」を開催する。
事業目的	広く市民から美術作品を募り、優れた作品を展示することにより、作品の発表と鑑賞の機会をつくり、市の美術振興を図る。
現状、背景	例年、約 180 点の出品、約 700 人の来場者である。□市民会館の閉館に伴い、H31 年度は夢みなとタワーで開催する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8491 境港市文化協会補助金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		560	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	560	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	560	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	560

事業概要	市文化協会加盟団体が主催する自主行事（市内での発表会、展覧会等）及び加盟団体が合同で開催する「境港文化のつどい」の開催経費の一部を補助する。 □□補助上限額 （自主事業分） 1 団体あたり 20 千円 （境港文化のつどい） 120 千円
事業目的	市内に活動の拠点を置く文化団体が自主的に行う文化活動を補助することにより、文化の創造を促進するとともに、市民に鑑賞する機会を提供する。
現状、背景	実績（協会加盟団体／補助事業実施団体／事業入場者） □ H25 35 団体／21 団体／約 4,700 人 □ H26 34 団体／20 団体／約 4,200 人 □ H27 34 団体／19 団体／約 3,600 人 □ H28 33 団体／18 団体／約 3,400 人 □ 補助限度額（1 団体あたり） □ H18～ 30 千円（財源内訳：市補助金 25 千円、協会費 5 千円） □ H27～ 26 千円（財源内訳：市補助金 25 千円、協会費 1 千円） □ H28～ 21 千円（財源内訳：市補助金 20 千円、協会費 1 千円）
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8494 親子読み聞かせ教室運営補助金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		516	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	247	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	269	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	516	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	516

事業概要	市内の読み聞かせ団体で構成する読み聞かせ団体連絡協議会がひまわり等で開催する読み聞かせ教室に対する補助金を予算化している。□ 実施日：□ 【ひまわり】 毎週水曜日、毎月第１・３・４金曜日□ 【図書館本館】 毎月第１・２・３土曜日□
事業目的	絵本等の親子読み聞かせ教室の開催を支援することにより、絵本等をとおして親子のふれあいを深めるとともに、子どもたちの豊かな心を育てていくことを目的とする。
現状、背景	近年はメディアの急速な発達と普及により、幼児期からテレビやゲームに触れる可能性が高くなった。このことは親子のふれあいやコミュニケーションの時間を奪い、この時期の子どもに必要な言葉や心の発達を妨げる結果となっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8499 文化振興事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,936	01 報酬	0	11 需用費	87	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	29	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,536	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	75	24 投資及び出資金	0
	その他	550	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,386	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	150	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	59	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,936

事業概要	市民の音楽活動等の文化活動の振興を目的に、市民が参加できるコンサート等を実施している。□・境港市ピアノコンクール□ 市内の小学生から高校生までが参加するピアノコンクルールの開催。□・サロンコンサート（境港市文化振興財団に運営を委託）□ 毎月1回、文化ホールの喫茶コーナーで行う地元の演奏家によるコンサートの開催。□・シンフォニー少年少女合唱団育成事業□ 市内の小学生から高校生で構成する合唱団の育成。
事業目的	市民が参加できる文化事業を開催することにより、市の文化振興の発展を図る。
現状、背景	いずれの事業も10年以上継続して開催しており、多くの市民が参加している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8958 鳥取県社会教育協議会負担金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		19	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	19	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	19	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	19

事業概要	鳥取県内の社会教育を振興するため県が設置する鳥取県社会教育協議会に対する本市負担金を予算化している。（人口割）
事業目的	構成団体（市町村教育委員会及び社会教育関係団体）相互の連絡提携を図るとともに、鳥取県公民館連合会と連携して、鳥取県社会教育の振興発展に寄与することを目的とする。
現状、背景	平成１９年度までは他の協議会等への負担金補助金が主な事業であったため、予算の見直しを行った。その結果、平成２０年度から支出項目を主に鳥取県公民館連合会交付金及び自主事業費とし、市町村負担金を削減している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9039 鳥取県社会教育委員連絡協議会負担金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		15	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	15	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	15	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	15

事業概要	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡協調をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする鳥取県社会教育委員連絡協議会に対する負担金を予算化している。(委員数)
事業目的	社会教育法に基づく社会教育委員の職務を全うするため、県市町村社会教育委員相互の連絡協調をはかり、もって県内の社会教育の振興に寄与することを目的とする。
現状、背景	この会は県及び市町村に設置された社会教育委員をもって組織され、情報収集・情報交換、研修会等をとおして各市町村の社会教育の振興を図っている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9041 青少年育成境港市民会議補助金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		334	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	334	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	334	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	334

事業概要	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進することを目的とし、青少年育成境港市民会議に対する補助金を予算化している。
事業目的	学校教育及び社会教育関係者等で構成される青少年育成境港市民会議を支援し、健全な青少年の育成を推進する。
現状、背景	近年の情報メディアの急速な発達・普及により、青少年をとりまく環境は大きく変化している。そのため学校・家庭・地域が連携して青少年の健全育成に取り組んでいかなければならない。□事業例：青少年意見発表会及び青少年育成講演会の開催。あいさつ運動・防犯パトロール等の実施。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9122 ブラスフェスタ運営補助金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		147	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	147	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	147	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	147

事業概要	市内の小学校から高校、一般までの金管バンドが参加するコンサート（ブラスフェスタ in 境港）の運営費を補助する。
事業目的	金管バンドを通して、様々な年代の演奏者の交流と音楽活動の振興を図るとともに、市民に広く鑑賞の機会を提供する。
現状、背景	特に小学生の出演児童にとって、中学生・高校生の演奏を聞く機会は貴重であり、演奏活動への大きな刺激となっている。□会場は H24 年度まで境港市民会館を使用していたが、耐震強度の不足により使用停止となったため、H25 年度～H28 年度は上道小学校体育館、H29 年度は文化ホールで開催している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9551 青少年育成センター管理費
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,398	01 報酬	1,632	11 需用費	20	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	66	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	282	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,398	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
青少年育成センター設置場所を市民会館 からしらぎく会館へ変更。			08 報償費	398	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,398

事業概要	青少年の非行防止と健全育成を目的とし、青少年育成センター職員2名分の人件費(2名分の各 1/2 相当を生涯学習課で負担)及び青少年育成センター運営協議会委員報酬と維持管理にかかる経費(消耗品費)を予算化している。
事業目的	青少年育成センターに職員を3名(3名のうち2名分の各 1/2 相当を生涯学習課で負担)を置き、青少年問題に関する機関・団体等との連絡を図り、巡回環境浄化や広報等で青少年の非行防止と健全育成の指導を総合的に行うことを目的とする。
現状、背景	平成18年度から平成21年度まで青少年育成センターの所管を教育総務課に移し、育成センター内に「やすらぎルーム」を設置していたが、育成センターとしての機能は十分ではなく、平成22年度からの所管は生涯学習課となる。職員3名により、青少年問題に関する機関・団体等との連絡を図り、巡回環境浄化や広報等で青少年の非行防止と健全育成の指導を総合的に行うことを目的とした活動を行う。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9554 文化財保存・保護事業補助金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		153	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	153	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	153	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	153

事業概要	市および県指定文化財の記録・保存に必要な維持・修繕等の整備・保存事業に対して補助を行う。補助事業者は指定文化財の所有者、補助率は市指定文化財の場合は補助対象経費の2分の1以内。県指定文化財の場合は補助対象経費の県補助残額の2分の1以内。□
事業目的	市および県指定文化財の記録・保存に必要な整備・保存事業に対して補助金の交付を行い、文化財の維持・活用を図っていくことを目的とする。
現状、背景	文化財は、年数を経ているものがほとんどであり、その保存・維持・活用には修繕等の整備事業が不可欠である。そのため、市および県指定文化財所有者に対して、保存・記録に必要と認められた事業に対して補助を行っている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9677 次世代鑑賞者育成事業補助金
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		200	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	200	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	0	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	200	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	200

事業概要	未就学児を対象とした作品鑑賞、創造体験または公演鑑賞の機会を提供する団体の活動を支援する。
事業目的	芸術・文化活動者のすそ野拡大・次世代鑑賞者の育成
現状、背景	H16 から県の事業として行われてきたが、子育て家庭へのさらなる周知を図るため、H22 から窓口が市町村へ移行した。□実績（補助事業実施団体／補助額） □H24 1 団体／100 千円□H25 1 団体／100 千円□H26 2 団体／139 千円□H27 1 団体／100 千円□H28 2 団体／110 千円
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9953 学校・家庭・地域連携協力推進事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,286	01 報酬	0	11 需用費	241	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	23	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	857	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	429	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	1,007	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	15	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,286

事業概要	平成２０年度～２２年度は委託事業として、平成２３年度からは補助事業として実施。学校・地域との連携推進を目指し、教育委員会事務局内に学校支援コーディネーターを配置、市内小・中学校１０校と地域の学校支援ボランティアとの調整を図り、学校の要望に応じた様々な教育活動を支援する。
事業目的	教員が本来の職務に専念できるよう業務負担の軽減を図るとともに、地域の方々が学校を支援することで、学校教育への関心を高め、地域の教育力を活性化し、学校・地域の連携体制の構築をめざす。
現状、背景	近年子どもを取り巻く環境が大きく変化し、家庭や地域の教育力が低下している。未来を担う子どもたちを健やかに育むためには、学校・家庭及び地域住民等が連携し地域全体で教育に取り組む体制づくりをめざす必要がある。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	10229 美保飛行場周辺まちづくり整備事業
	目	1	社会教育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
	事業費	1,806,494	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	568,584	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	29,975	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	65	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	1,776,136	25 積立金	0
	一般財源	1,237,910	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	318	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,806,494

事業概要	美保基地の存在による航空機災害等の対応策として、地域住民が安全・安心で暮らせる環境を創出するための災害に強いまちづくりと、基地と市民との交流拠点の整備を目指したまちづくりを行う。□ 平成 31 年度から「境港市民交流センター（仮称）」の新築工事を行う。
事業目的	美保基地の存在による航空機災害等の対応策として、地域住民が安全・安心で暮らせる環境を創出するための災害に強いまちづくりと、基地と市民との交流拠点の整備を目指したまちづくりを行う。
現状、背景	美保基地周辺では、航空機による飛行訓練及び人員・装備品等の空中輸送が頻繁に実施されていることから、周辺住民は常に航空機事故等に対する危機感を抱いている。平成 28 年度から次期輸送機（C2）に更新され、周辺住民は更に不安感が増している状況である。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8500 公民館管理費
	目	2	公民館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		74,202	01 報酬	46,881	11 需用費	8,408	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	1,713	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,378	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	7,601	14 使用料及び賃借料	1,586	24 投資及び出資金	0
	その他	712	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	73,490	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	6,357	18 備品購入費	208	28 繰出金	0
			09 旅費	70	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	74,202

事業概要	地域活動の拠点である 7 公民館の職員人件費及び維持管理にかかる経費、地域住民により構成され、公民館運営に関する審議を行う公民館運営審議会委員の報酬を予算化している。
事業目的	地域住民の生涯学習及びコミュニティの拠点である公民館の充実を図る。
現状、背景	平成 29 年度をもって市内 7 公民館の改修工事を終えたが、その都度生じる最低限の修繕を行う。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8501 公民館事業振興費
	目	2	公民館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,429	01 報酬	0	11 需用費	609	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	41	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,429	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	685	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	94	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,429

事業概要	各地区住民のニーズに即した公民館講座を開催し、あわせてその活動や作品の発表の機会を提供し、市民の生涯学習の振興を図ることを目的とし、公民館職員の人件費や各種公民館講座の開催などに要する経費及び職員の研修等にかかる経費を予算化している。
事業目的	各地区住民のニーズに即した公民館講座を開催し、あわせてその活動や作品の発表の機会を提供し、市民の生涯学習の振興を図る。
現状、背景	各地区の特色を出した公民館活動が非常に活発に行われている。また、公民館講座をきっかけとして自主サークルへと発展している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9055 地区公民館総合文化祭補助金
	目	2	公民館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		532	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	532	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	532	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	532

事業概要	各地区ごとに地域の特色を生かした公民館まつりを実施している。子どもたちの作品や日ごろの公民館活動の成果を発表・展示し、地域住民の交流を図ることを目的とする7地区の公民館まつりに対する補助金。
事業目的	各地区ごとに地域の特色を生かした公民館まつりを実施し、子どもたちの作品や日ごろの公民館活動の成果を発表・展示し、地域住民の交流を図る。
現状、背景	公民館まつりは、地域住民が子どもたちの作品や日ごろの公民館活動の成果を観覧できる秋の最大のイベントであり、春の市民運動会と同様にたくさんの来場者でにぎわっている。作品の出展数は1000点前後あり、また各地区でもてなしの工夫をして公民館まつりを実施している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9937 公民館施設整備事業
	目	2	公民館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		9,551	01 報酬	0	11 需用費	3,935	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	5,616	25 積立金	0
	一般財源	9,551	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	9,551

事業概要	老朽化が進んでいる市内 7 公民館の施設整備・修繕工事を実施する。
事業目的	老朽化が進んでいる市内の公民館施設の修繕工事を実施する。
現状、背景	平成 29 年度をもって、市内 7 公民館の改修工事を終えたが、年度が経過することで修繕が必要な箇所が生じてくる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9958 公民館活動研究集会補助金
	目	2	公民館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		70	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	70	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	70	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	70

事業概要	各種研修・公民館活動・公民館講座等で習得した活動等の発表の機会を提供し、市民の生涯学習の振興を図ることを目的とした公民館活動研究会の補助金。
事業目的	各種研修・公民館活動・公民館講座等で習得した活動等の発表の機会を提供し、市民の生涯学習の振興を図る。
現状、背景	公民館活動の発表の場として平成 31 年度で 42 回目を迎える公民館活動研究集会。市民のさらなる生涯学習の振興を図るために引き続き発表の機会等、提供を行う。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	10410 鳥取県公民館連合会負担金
	目	2	公民館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		14	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	14	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	14	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	14

事業概要	公民館相互の連携を深め、公民館体制の整備充実を図り、社会教育の振興に寄与することを目的に設置されている鳥取県公民館連合会に対する境港市の負担金を予算化している。
事業目的	公民館相互の連携を深め、公民館体制の整備充実を図り、社会教育の振興に寄与することを目的に設置。
現状、背景	各種大会・研究集会に参加し、公民館運営に関すること等調査研究に努め、また、情報交換等を行っている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8504 図書館管理費
	目	3	図書館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		32,980	01 報酬	12,538	11 需用費	2,398	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	1,558	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,426	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	2,162	14 使用料及び賃借料	3,560	24 投資及び出資金	0
	その他	135	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	32,845	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	2,580	18 備品購入費	6,745	28 繰出金	0
			09 旅費	13	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	32,980

事業概要	<p> 知の拠点としての市民図書館職員の人件費及び維持管理にかかる経費、新書の購入費を予算化している。 </p>
事業目的	<p> 市民の知の拠点である市民図書館の充実を図る。 </p>
現状、背景	<p> 平成２９年度の蔵書冊数は１４．１万冊となっている。 </p>
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9059 鳥取県図書館協会負担金
	目	3	図書館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		9	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	9	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	9	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	9

事業概要	県内の図書館の連携、情報共有を目的に設置されている鳥取県図書館協会に対する境港市の負担金を予算化している。
事業目的	県内の公共図書館、高専・短大・大学図書館、学校図書館及び幼稚園、保育園、読書団体等の連絡連携のもとに図書館の発展を図り、鳥取県の文化の向上に寄与することを目的とする。
現状、背景	鳥取県図書館大会や他市町村の図書館の視察等に参加し、図書館司書のレベルアップと市民の知の拠点としての市民図書館機能の向上に役立てている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	9959 読書活動推進大会開催事業補助金
	目	3	図書館費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		100	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	100	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	100	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	100

事業概要	胎児期～高齢期まで読書が楽しめる生涯読書の推進を目指し、平成１７年から小中学校や読み聞かせ団体の読書に関する活動の発表や、その年のテーマに沿った講演会等を開催している。当事業を開催するための補助金を予算化している。
事業目的	胎児期のブックスタートに始まるように人生におけるそれぞれの時期に応じて読み聞かせや読書活動を体験し、生涯をととした読書活動を推進することにより、誰もが読書の楽しさや素晴らしさを実感できることを目的とする。
現状、背景	近年、メディアの発達・普及により、子どもの「読書離れ」が進んでいる。平成１７年６月、読書で未来をひらくまち境港を目指して「境港市子ども読書活動推進計画」を策定し、胎児期から高齢期まで読書が楽しめる生涯読書の推進を目的としてブックスタート・学校図書館の充実・読み聞かせ活動の拡大などの取り組みの１つとして、読書活動推進大会を開催している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8509 市史編さん事業
	目	4	市史編さん費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		2,431	01 報酬	1,716	11 需用費	49	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	308	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	11	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	2,420	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	358	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	2,431

事業概要	市史に関する資料や記録を収集・編集し、市史等を発行することを目的とし、市史編さんにかかる経費及び臨時職員の1名の人件費を予算化している。
事業目的	市史に関する資料や記録を収集・編集し、市史等を発行する。
現状、背景	昭和58年度に「境港昔と今」を発行してから平成18年度に50周年記念写真集発行、平成24年度に55周年史の発行まで、ほぼ5年に1度市史を発行している。□
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8510 学習等供用施設等管理費
	目	5	学習等供用施設管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		10,051	01 報酬	0	11 需用費	5,379	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	280	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	4,097	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	189	24 投資及び出資金	0
	その他	132	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	9,919	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	106	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	10,051

事業概要	学習等供用施設3館（なぎさ会館、しおさい会館、しらぎく会館）の維持管理にかかる経費を予算化している。
事業目的	地区公民館同様、地域住民の生涯学習及びコミュニティの場となっている学習等教養施設の充実を図る。
現状、背景	なぎさ・しおさい会館は女性団体連絡協議会に管理を委託している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8512 海とくらしの史料館管理費
	目	6	海とくらしの史料館管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		16,613	01 報酬	0	11 需用費	3,381	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	105	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	13,127	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	16,613	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	16,613

事業概要	魚介類の剥製・民具等を展示している海とくらしの史料館の管理運営を一般財団法人境港市文化振興財団に指定管理者として委託し、その管理運営費と建物保険料を予算計上している。
事業目的	海とくらしの史料館の管理運営
現状、背景	指定管理者：一般財団法人境港市文化振興財団□指定期間：平成２９年４月１日～平成３２年３月３１日（３年間）
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	10858 海とくらしの史料館開館25周年記念事業
	目	6	海とくらしの史料館管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		950	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	950	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	950	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	950

事業概要	海とくらしの史料館開館25周年を記念し、海や魚をテーマとした講演会・企画展示を実施する。□
事業目的	海とくらしの史料館の開館25周年の節目の年、館のメインテーマである「海・魚・港」をテーマとしたイベントを開催し、館に対する市民の関心を高めていく。□
現状、背景	海とくらしの史料館では、ハクセイや民具を中心として常設展示を行っているが、来館者が低迷しつつある。節目の年にあたるH31年度、市の主催で講演会・企画展示を実施□
その他	イベント開催経費の一部に充てるため、民間団体の助成金を申請する予定である。□

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	8514 文化ホール管理費
	目	7	文化ホール管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		28,849	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	46	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	28,803	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	28,849	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	28,849

事業概要	市の文化活動の拠点として、ピアノ発表会やコンサートなど数多くのイベントが開催される文化ホールの管理運営を一般財団法人境港市文化振興財団に指定管理委託し、その管理運営費と建物保険料を予算計上している。□
事業目的	市の文化活動の拠点である文化ホールの管理運営
現状、背景	指定管理者：一般財団法人境港市文化振興財団□指定期間：平成２９年４月１日～平成３２年３月３１日（３年間）
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	10512 文化ホール改修事業
	目	7	文化ホール管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		5,532	01 報酬	0	11 需用費	5,532	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	5,532	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	5,532

事業概要	文化ホール内部及び周辺のうち、老朽化している下記の部分を改修・更新する。□①楽屋エアコンの更新□②浄化槽ピット蓋の更新□③高圧気中区分開閉器の更新
事業目的	利用者の安全確保とともに、現在、市内唯一の音楽拠点である当ホールを利用者が快適に利用できるよう、老朽機器の更新を図る。
現状、背景	文化ホールは開館から20余年を経過し、各所で老朽化が進んでおり、改修・機器の更新が必要となっている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	5	社会教育費	20 生涯学習課	10872 文化ホール開館25周年記念事業
	目	7	文化ホール管理費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		179	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	179	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	179	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	179

事業概要	文化ホール開館２５周年を記念し、文化振興財団の主催によりコンサートを開催する。コンサートには、地元出身の学生や若手演奏家に出演していただく予定である。□
事業目的	文化ホーールの開館２５周年の節目の年、これからの地域の文化活動を担う若手演奏家の育成を図るとともに、芸術に対する市民の関心を高め、延いてはホールへ足を運んでいただく。□
現状、背景	市民会館が閉館し利用出来なくなり、市民の文化活動が低迷するおそれがある中、文化ホールで市民が芸術に親しむ機会を提供していく。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	8515 生涯スポーツ振興費
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		614	01 報酬	525	11 需用費	20	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	5	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	614	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
体力テストについて、境港市スポーツ推進 委員協議会の主催であるため、「市民総ス ポーツ運動事業」から「生涯スポーツ振興 費」に事業を変更した。			08 報償費	9	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	55	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	614

事業概要	各地区において生涯スポーツを普及する指導者としての役割を担うスポーツ推進委員を委嘱する。□これら生涯スポーツの普及・振興を図るために必要な委員報酬等を予算化している。
事業目的	スポーツ推進委員を委嘱し、各地区での生涯スポーツの普及・振興を図る。
現状、背景	スポーツ推進委員については各地区での活動はもとより、境港市スポーツ推進委員協議会を設置して、年6回の定例会や研修会・ニュースポーツ大会の実施、また、体力テスト、駅伝大会等の市の体育事業にも積極的に参画している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	8517 地区体育・スポーツ振興事業補助金
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		853	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	853	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	853	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	853

事業概要	本市の体育・スポーツ振興及び地域活動への参加を促進するため、市民運動会などの地域の体育・スポーツ活動について補助する。
事業目的	各地区で行われる運動会や各種スポーツ大会や講習会などの体育・スポーツ活動について補助を行い、生涯スポーツへの関心を高める。
現状、背景	市内7地区において、市民運動会（年1回）や各種大会・講習会（各地区年4回程度）などが開催されている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	8519 鬼太郎カップ境港駅伝競走大会開催補助金
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		650	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	650	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	650	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	650

事業概要	本市のスポーツ振興を図るとともに、「境港市」を広く発信できる全国的な規模の大会である「鬼太郎カップ境港駅伝競走大会」の開催について助成を行う。
事業目的	全国的な規模の駅伝大会を開催することにより、スポーツ活動への関心を高めて一層の振興を図るとともに、「境港市」を全国へPRする。
現状、背景	一般・自衛隊・大学・高校の４部門で開催され、平成２９年度には１７回目となる。平成２２年度より日韓ロ国際交流として東海市・ウラジオストク市からチームを招聘しており、好評を得ている。□・参加チーム数□ 平成２９年度：７１チーム□ 平成２８年度：７３チーム□ 平成２７年度：７８チーム
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	8520 高校駅伝競走大会支援事業
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		79	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	79	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	79	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	79

事業概要	本市の体育・スポーツの振興を図るため、(公財)日本陸連公認の本市「サカイマリンマラソンコース」において開催される鳥取県高校駅伝競走大会（兼全国大会予選会）の運営について支援を行う。
事業目的	全国大会の予選も兼ねる鳥取県高校駅伝競走大会の運営について支援を行い、あわせて本市の体育・スポーツ振興を図る。
現状、背景	参加する高校生からも、平坦なため好記録が期待できるコースであると好評を得ている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	9063 鳥取県スポーツ推進委員協議会負担金
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		42	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	42	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	42	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	42

事業概要	本市及び鳥取県全体のスポーツ振興に寄与するため、県内のスポーツ推進委員で組織される協議会に対して負担金を支出する。
事業目的	県内のスポーツ推進委員で構成される会員相互の研修と連絡提携を図り、生涯スポーツの普及・指導と健全な体育の振興に寄与する。
現状、背景	本市のスポーツ推進委員も役員として運営に携わっており、鳥取県全体のスポーツ振興にも寄与している。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	9064 県民スポーツ・レクリエーション祭参加補助金
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		124	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	124	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
平成 29 年度は、中部地区を中心に開催する。			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	124	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	124

事業概要	本市の生涯スポーツの振興及び次世代の育成を図るため、鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭の参加について助成する。
事業目的	鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭に参加する体育協会加盟団体の小学生の旅費を助成し、次世代の育成を図る。
現状、背景	・参加者数□ 平成２８年度：１２３人（鳥取県中部地震のため、一部会場中止）□ 平成２７年度：２１２人□ 平成２６年度：２０６人
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	9065 境港市体育協会育成補助金
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,016	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,016	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	1,016	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,016

事業概要	本市のアマチュアスポーツの統一組織として、スポーツを振興し、市民体力の向上を図り、健全な精神を養うことを目的に組織された境港市体育協会の育成を図るため、協会が主催する市民総合体育大会やスポーツ教室の開催について補助する。
事業目的	境港市体育協会加盟団体が開催する市民総合体育大会やスポーツ教室について補助し、体育協会の育成と本市の体育・スポーツ振興を図る。
現状、背景	・開催実績（平成２８年度）□ 市民総合体育大会：１９団体□ スポーツ教室：２教室
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	9973 日韓口駅伝交流事業
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		1,820	01 報酬	0	11 需用費	403	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	10	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	708	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	669	24 投資及び出資金	0
	その他	239	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	1,581	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	30	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	1,820

事業概要	毎年１０月に開催される「鬼太郎カップ境港駅伝競走大会」に韓国・東海市とロシア・ウラジオストク市の駅伝選手を招へいし、国際色あふれる大会とすることにより、ＤＢＳクルーズフェリーを活用した東アジア地域とのスポーツ交流を促進する。□
事業目的	相互都市発展のため、教育、文化、スポーツなど多方面での交流を推進する。
現状、背景	平成 21 年に境港市と東海市及びウラジオストク市の三市間で署名を行った「協力計画議事録」に伴い、鬼太郎カップ境港駅伝競走大会にロシア・韓国の駅伝選手を招へいするにより、スポーツを通じた市民レベルの国際交流を推進する。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	10817 クロアチアセーリングチームキャンプ受入事業
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		664	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	664	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	664	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	664

事業概要	クロアチアのセーリングチームが境港公共マリーナでキャンプを実施するにあたり、選手の受入・滞在費用等を一部負担する。
事業目的	東京オリンピックやレーザー級世界選手権を目指す海外チームのキャンプを誘致することにより、地元選手の競技力向上を図るとともに、レーザー級世界選手権開催へ向けて市民の機運を高めていく。
現状、背景	平成 30～32 年度の間、クロアチアで活動するセーリングチームが年 1～2 回境港公共マリーナを訪れ、練習、市民との交流などを行う予定である。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	10874 2019 レーザー級世界選手権大会負担金
	目	1	保健体育総務費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		20,000	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	20,000	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	20,000	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	20,000

事業概要	2019 レーザー級世界選手権大会の開催を支援する。
事業目的	
現状、背景	
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	8521 体育施設管理費
	目	2	体育施設費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		56,035	01 報酬	0	11 需用費	6,059	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	290	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	46,442	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	56	24 投資及び出資金	0
	その他	1,656	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	54,379	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	7
各施設とも老朽化が進んでいるため、各所の修繕及び備品の更新を実施する。			08 報償費	0	18 備品購入費	3,181	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	56,035

事業概要	スポーツの振興及び体力・健康の保持増進を図るため、安心して利用できる体育施設を運営するための維持管理を行う。
事業目的	気軽に安心して利用できる体育施設を管理・運営することにより、本市における体育振興と健康増進を図る。
現状、背景	市民体育館や温水プールなどについては、民間手法の導入による管理運営経費の節減とサービスの向上を図るため、平成１８年度より指定管理者制度を導入し、境港市体育協会と境港スイミングスクールに管理・運営を委託している。□指定期間：平成３０年４月１日～平成３５年３月３１日（５年間）
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	9207 陸上競技場第4種公認検定事業
	目	2	体育施設費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		7,211	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	62	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	7,211	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
第4種公認を取得するため、平成 25 年度に(財)日本陸上競技連盟の公認検定員による「事前調査」及び専門業者によるチェックを受けた。			08 報償費	0	18 備品購入費	7,149	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	7,211

事業概要	竜ヶ山陸上競技場について、(財)日本陸上競技連盟から第4種競技場として公認を受けるため、トラック・フィールド内を第4種競技場としての条件を満たすよう整備する。
事業目的	第4種公認を取得するための競技場改修及び備品購入を行う。
現状、背景	公式記録をとるためには、公認競技場としての認可が必要である。引き続き第4種競技場としての認可をえるためには競技場改修及び備品購入が必要となる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	10756 市民温水プール改修事業
	目	2	体育施設費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		13,726	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	13,726	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	0	25 積立金	0
	一般財源	13,726	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	13,726

事業概要	市民温水プールの老朽箇所（外壁・空調機器等）を改修する。□【改修スケジュール】□H30 設備劣化状況調査□H31 設計（基本・実施）・改修工事
事業目的	施設の長寿命化を図るとともに、施設利用者が安心して利用できる環境を確保する。
現状、背景	施設開館後３０年近くが経過し、各所に老朽化による傷みがみられる。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	10776 竜ヶ山陸上競技場観覧席屋根改修事業
	目	2	体育施設費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		12,562	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	0	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	12,562	25 積立金	0
	一般財源	12,562	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	12,562

事業概要	竜ヶ山陸上競技場観覧席屋根が経年劣化で損傷しているため改修する。
事業目的	利用者が快適に利用するための環境整備
現状、背景	施設設置から３０余年を経過し、観覧席の屋根に穴が開いている。
その他	

会 計	款	10	教 育 費	所管課	事業名
一 般 会 計	項	6	保健体育費	20 生涯学習課	10859 竜ヶ山球場改修事業
	目	2	体育施設費		

		予算額	節	予算額	節	予算額	節	予算額
事業費		32,508	01 報酬	0	11 需用費	0	21 貸付金	0
財 源 内 訳	国庫支出金	0	02 給料	0	12 役務費	0	22 補填補償及び賠償金	0
	県支出金	0	03 職員手当等	0	13 委託料	1,851	23 償還金利子及び割引料	0
	地方債	0	04 共済費	0	14 使用料及び賃借料	0	24 投資及び出資金	0
	その他	0	05 災害補償費	0	15 工事請負費	30,657	25 積立金	0
	一般財源	32,508	06 恩給及び退職年金	0	16 原材料費	0	26 寄付金	0
今年度見直し内容			07 賃金	0	17 公有財産購入費	0	27 公課費	0
			08 報償費	0	18 備品購入費	0	28 繰出金	0
			09 旅費	0	19 負担金補助及び交付金	0	30 予備費	0
			10 交際費	0	20 扶助費	0	計	32,508

事業概要	竜ヶ山球場のバックネットの改修、管理棟へのエアコン設置、夜間照明光公害影響調査を行う。
事業目的	
現状、背景	
その他	

